

坪井九馬三 つばひ 史學者、文學博士。安政五年一月十五日攝津國生
れ、昭和十一年一月二十一日歿（一八六一—一九三六）。幼名久米吉、久馬造。
號清林。明治十四年東京大學文學部、十八年同理學部卒。二十年歐洲
留學、二十四年帝國大學文藝科大學教授。二十二年ローマでの萬國東洋
學會に出席、歸朝後東京帝大文藝科大學長に任じられた。帝國學士院會員。
著書に『論理學講義』全一冊（上編全、下編全・演繹法・歸納法・明治十六年十月酒井
清造・岩本三三刊）、『論理學入門』（明治二十九年九月岩本米太郎・
酒井清藏出版）、勸修寺晴右『晴右記』（白下寛共校、明治二十二年
七月二十一日東京帝國大學應版、富山房「文科大學史談叢書」）、『奥
函國と其皇室』（大正二年十一月十日富山房『時事叢書』）等。